

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



2009 年に植えたユーカリが、用材として販売されました。家計収入の改善に役立っています。

植林活動に参加できたことを感謝しています。

私は、ブルキナファソ中央北部州バム県コングシ郡にあるバディノゴ村に住んでいる、ケレ・スレイマンと申します。この村で、「緑のサヘル」が湖岸植林プロジェクトを開始した 2009 年、初めてユーカリを植林しました。それ以来、水やりや除草を続け、昨年末から用材として出荷できるようになりました。

プロジェクトに参加する前、私の家庭では何年も調理用の薪材の収集に苦労していました。今では自分が育てた木を利用できるため、その苦労が軽減されています。またそればかりではなく、用材として販売することによって現金を手に入れることも出来ます。そのおかげで、身の回りの物を購入したり、子供の学費や医薬品の支払いが出来るようになりました。

「緑のサヘル」のプロジェクトでは、住民に植林活動への労力提供のみを求めるのではなく、苗木の植え方や管理の仕方についての知識や技術を学ぶ機会を提供してくれます。そのおかげで、私は自分の力で木を植え、育て続けることが出来ました。

私は、現在の成功を神様と「緑のサヘル」に感謝しています。また、継続的な支援をして下さった日本の支援者の皆様にも感謝致します。ありがとうございました。

バディノゴ村植林実施者
ケレ・スレイマン

「小学校緑化支援」

前号で、ブルキナファソのコングシ地域で行なっている「小学校緑化支援」についてご報告しましたが、今回は各校の子供たちの頑張りをご紹介しますと思います。

子供たちは、授業で「緑の大切さ」を学んだ後、苗木の植え方や灌水について講習を受けます。その後、雨季の訪れを待って、全校生徒による苗木の植え付けが行なわれます。苗木は家畜や野生動物の食害を受けやすいので、保護者の皆さんが1本1本を柵で囲ってくれます。苗木の水やりは、子供たちの担当です。



講習会に臨む子供たちの表情は、真剣そのものです。

苗木への水やりは大変ですが、みんな一生懸命です。



苗木を植えて1年後、各校代表の生徒と教師が一堂に会し、成績発表会が行なわれます。この成績は、活動への参加人数や苗木の活着本数、成長度合い等、20項目の評価によって判定され、成績が優秀だった学校には、バム県の教育局から表彰状が授与されます。また、全校に1年間がんばった労いとして、翌年度の活動に使うバケツやスコップ、つるはし等の賞品が手渡されます。



成績発表会に集まった各校の生徒と教師たち。

表彰状を手にして、嬉しそうな生徒と教師たち。



子供たちに支援を！

この7年間に22校、12,000名の子供たちによって植えられた苗木は計5,269本。その7割が大きく育っています。今年度は新たに10小学校を対象に支援を行なう予定ですが、そのための活動資金が不足しています。

皆さん、どうかご支援をお願いします！



現地では、停電や断水が頻発しています。近年、暑くなり始める時期が早くなってきており、乾季の最盛期となる4～5月には日中の最高気温が40度を超える日が増えていきます。連日の暑さにもかかわらず頻発する停電に、たまりかねた首都ワガドゥグの住民は、電力会社に対して抗議を行ないました。また乾燥のため、未舗装路ではひどい砂嵐が吹き抜けてゆきます。暑い毎日、まだしばらく続きます。

JICA 草の根技術協力事業

本事業は2009年7月から開始し、2012年6月に終了しました。引き続きフォローアップが始まり現在に至っていますが、この事業も2014年6月には終了する予定となっています。事業の最終年ということもあり、住民の取り組みには手馴れてきた様子が見え、活動の結果が着実に積み上がっています。

この時期の定番作業ともいえるディグレット（石堤）の設置が、ロルガ村、タンギエマ村とタンポンガ村の3村で行なわれました。炎天下、男性も女性も村の住民総出で取り組みます。作業を分担・協力しながら、複数の栽培地に設置してゆきます。平均で1村あたり36日間作業が行なわれ、参加者数は平均で延べ1,000名を越えました。



村の住民の多くが協力し、役割分担しながら石を並べていきます。

このところ目立っていませんでしたが、ロルガ村とタンギエマ村で行なわれている養蜂活動も順調です。雨季と乾季における農作業とのバランスをとるため採取回数は減っていますが、蜂蜜の採取量は増えています。3月にはロルガ村で約25リットル、タンギエマ村で約20リットルの蜂蜜が採取されました。年間で見れば、ほぼ倍増しています。



販売されている蜂蜜各種。容量だけではなく、「液状」と「蜂の巣入り」の違いもあります。

また、採取された蜂蜜は全量が売られており、販売も順調です。時期に左右されますが、村内だけでなく、他村への販売量も増えています。そのため、収入金額は活動を始めた2009年と比べると、約4倍に達しています。

ただ懸念すべきこともあります。最近、この地域では乾季の野菜栽培が活発になっており、農薬の散布が広範囲で行なわれるようになりました。程度によっては、蜂が逃げてしまう可能性もあります。今後は、双方で折り合いを見つけていかなければと思っています。

ブルキナファソから 2



湖岸植林プロジェクト



水やり用の湖水を溜めるために建設した貯水槽が、破壊されてしまいました。

バイエンフルゴ村では、残念ながら、昨年 12 月に植栽したユーカリやマンゴの苗木が、家畜の食害を受けてしまいました。

植林サイトは、全体を棘のある枝で囲い、それぞれの苗木も柵で囲ってあったのですが、それでも突破されてしまいました。また、日中ではなく夜間の侵入であったことも、防ぎきれなかった原因のひとつです。

さらに 1 週間後、今度はラクダと牛が侵入しました。植林サイトは湖岸とはいえやや離れているため、水やり用の湖水を溜めておく貯水槽を建設してありました。この

貯水槽が、溜めておいた水を飲みに来たラクダと牛によって壊されてしまいました。今回も夜間の出来事であったため、被害を防ぐことは出来ませんでした。

地域は移牧民（季節ごとに定住地を往復する牧畜民）の移動ルートになっているため、彼らの連れている家畜による被害は日常茶飯事です。今回の被害は郡長に報告され、移牧民によって弁償されることになりました。4 月末には、貯水槽も苗木も元に戻りました。

チャドから



フードセキュリティがさらに厳しくなる見込みです。

チャド共和国の中央部を横断するように、食料事情が悪化しています。とりわけ、東端にあるワディ・フィラ州と西側にあるバハル・エル・ガザル州の南部では、状況がひっ迫しています。備蓄されていた穀物は、2 月で無くなってしまいました。例年と比べると、2 ヶ月も短くなっています。

まだ今年の作付けは開始されていないため、例年食料確保が困難な端境期（7 月～9 月）には、一層の窮乏が予想されます。

早急な対策をとる必要があると同時に、収穫期となる 10 月頃まで途切れることのない支援が行なえる体制を整えなければなりません。国際機関も警鐘を鳴らしています。

（右写真）チャド・プロジェクトでは、不安定な食糧事情を考慮し、穀物備蓄支援を行ないました。（1998 年）



国内活動



今期は大きなイベントはありませんでしたが、静岡や神奈川、岩手の中学生の皆さんと触れ合う機会に恵まれました。また、3月28日は「緑のサヘル」の設立記念日でした。皆様のおかげで24年目を迎えること出来、スタッフ一同、気持ちを新たにしています。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

3月	4日(火)	横浜市立 舞岡中学校 (3年生 222名)	講演 (岡本)
	13日(木)	藤枝市立 広幡中学校 寄付授与式	出席 (田村)
	20日(木)	途上国森づくり委員会 (主催：海外林業コンサルタンツ協会)	出席 (岡本)
	25日(火)	NGO 関係事業連絡会 (主催：国際緑化推進センター)	出席 (岡本)
	28日(金)	緑のサヘル設立記念日	
4月	3日(木)	「世界食料デー月間」ミーティング	出席 (岡本)
	16日(水)	盛岡市立 下小路中学校 事務所訪問 (3年生 7名)	担当 (菅川)
	25日(金)	「世界食料デー月間」ミーティング	出席 (岡本)

広幡中学校 寄付授与式

昨年に続き、静岡県藤枝市の広幡中学校の皆さんが、回収した古紙をお金に換え、「緑のサヘル」にご寄付してくれました。

3月13日に行なわれた授与式には、一時帰国していたブルキナファソ・プロジェクト調整員の田村が出席し、全校生徒に現地の状況や活動の様子を、女性としての視点を交えて紹介しました。

頂いたご寄付は、村々に植える苗木の購入等、現地の貴重な活動資金になります。



皆さん、本当にありがとうございました！

下小路中学校 事務所訪問



去る4月16日、岩手県盛岡市の下小路中学校の3年生7名が「緑のサヘル」の事務所を訪れてくれました。

修学旅行に際しての団体訪問の一環ですが、7名ともアフリカや砂漠化に関心があり、当団体を訪問先に選んでくれたとのことでした。

当日は、事務局長の菅川が活動紹介を行ない、様々な質問に答えましたが、生徒たちも一層関心を深めてくれたようです。



チャリティ・コンサートin 大阪

毎年恒例となっているチャリティ・コンサートが、今年も開催されます。今年は「中島啓江と岡本知高のビッグコンサート～big なふたりのゴージャスセッション～」と題し、オペラ歌手の中島啓江さん、ソプラニスタ（女性ソプラノの音域を持つ男性ソプラノ歌手）の岡本知高さん、ピアノの飯田俊明さんが、素敵なひと時をお届けします。

主催団体のひとつである「アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会」は、これまでにバザーやコンサートの開催を通じて「緑のサヘル」への支援活動を続けて下さっています。

今年もコンサートの収益の一部が、「緑のサヘル」が行なう活動の大切な資金として寄付されることになっています。ぜひご来場下さい！



日時：2014年7月6日(日)

場所：大阪府池田市民文化会館アゼリアホール

料金：前売券 3,700円、当日券 4,200円(全席自由席)

主催：アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会
中西クリニック、(財)いけだ市民文化振興財団

後援：池田市、池田市教育委員会、池田市公益活動促進協議会
協賛：株式会社 音羽

【お問合せ】

- ◇ 池田市民文化会館
(Tel: 072-761-8811)
- ◇ アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会
(Tel: 072-761-0508)
- ◇ 中西クリニック
(Tel: 072-762-7275)

【プレイガイド】

上記の「お問合せ」、いけだ市民文化振興財団(阪急池田駅2階/Tel: 072-750-3333/火曜定休)
池田市役所1階会計管理室(Tel: 072-752-1111)、ローソンチケット(Lコード 53429/Tel: 0570-084-005)

自然の恵み ハケ岳製品を！

大自然の中、丹精込めて作られたチーズやソーセージ、カレーはいかがですか？

長野県ハケ岳山麓に、「ハケ岳中央農業実践大学校」があります。ここでは、営農を志す青年たちが、豊かな緑の中で色々な作物や野菜、乳製品や加工食品作りに、日々汗を流しています。

「緑のサヘル」代表の岡本と事務局長の菅川も、この学校のOBです。その縁もあり、「緑のサヘル」を通じて製品をご注文頂くと、大学校のご厚意によって、売り上げの20%が当団体に寄付されます。



詳しくは最終ページのセット価格表をご覧ください！

ありがとうございました

* 敬称は略させて頂きました。

【 継続会員のみなさま 】

野口鉄雄／吉川千尋／高橋まり子／山田規矩子／鈴木寿一／瀬戸栄一／瀬戸義子
碓井道子／菅沼浩敏／田中ちえ子／河村ミヨ子／榎本雅子／岩永孝子／玉岡昇治
大池良平／門村浩／中村洋／澤井温子／立花美江／国岡裕子／新海真理子
立屋敷哲／井上茂／藤巻晴行／天野洋子／大阪信愛女学院小学校
(特活)アークス仏教国際協力ネットワーク

他 匿名をご希望の方 2 名

【 ご寄付を頂きました 】

碓井道子／佐藤弘美／北村資寿子／高見純代／賀川麻衣／山田規矩子／村上和代
小池昌子／木嶋清江／瀬戸栄一／瀬戸義子／高松千枝子／田中ちえ子／那口真理子
竹越秀子／水口正之／勝間朋子／馬場慶子／淳工房 菅井淳介／小森淳子
ドゥルセアルテ／佐藤京子／入江成子／さぬき眼科 佐貫真木子／藤田美穂／武知ハルミ
カラ＝西アフリカ農村自立協力会／盛岡市立下小路中学校生徒会／住宅エコポイント
藤枝市立広幡中学校生徒会／個別教育フォレスト安多秀司／(特活)WE21 ジャパンとつか
真如苑／(公財) 毎日新聞東京社会事業団／株式会社プレジャーワークス

他 匿名をご希望の方 5 名

【 BOOK募金を通じてご寄付を頂きました 】

大枝美智子／渡辺由美／ショファイユの幼きイエズス修道会／竹越久高／稲田収
天野洋子／梅田暢子／齊藤せい子／小笠原弘子／高松千枝子

他 匿名をご希望の方 4 名

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

宮根恭子／太久保久美子 他 匿名をご希望の方 1 名

上記は 2014 年 2 月 1 日から 4 月 30 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2014 年 5 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／(独)国際協力機構(JICA)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／(公財)イオン環境財団(環境活動助成)
緑の募金(管理団体:(社)国土緑化推進機構)／(公財)国際緑化推進センター
アクトシステム株式会社／(社)日本経済団体連合会／(公信)地球環境日本基金
isave(シーブ(株))／住宅エコポイント／ アフリカ料理 トライプス
(財)農村更生協会 ハケ岳中央農業実践大学校／(特活)国際協力 NGO センター
(特活)環境アリーナ研究機構／(特活)ハンガー・フリー・ワールド
国際連合食糧農業機関(FAO)／(公社)国際農林業協働協会／(株)グリムス

【 画像を提供しました 】

(株)東京書籍 中学校社会教科教科書「新編 新しい社会 地理」
京都市環境政策局 中学生版環境副読本「私たちの環境」
(株)ケーディグラフィック 豊川太陽光発電施設に設置するパネル

「緑のサヘル」からお知らせ

BOOK募金で気軽に国際協力！

「緑のサヘル」は、BOOK 募金に参加しています。

使わなくなった書籍や CD、DVDなどを(株)プレジャーワークスにお送りいただくと、その買取代金が「緑のサヘル」に寄付されます。

詳しくは、同封したチラシを見てね！！



gooddo

“社会を良くする” 仕組みづくり

Gooddo (グッドゥ) は、応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に無料で支援することができます。

gooddo のサイト (<http://gooddo.jp>) にアクセスし、「団体を探す」から「緑のサヘル」を選び、クリックして下さい。応援ポイントが貯まり、ポイント数に応じた支援金が「緑のサヘル」に届けられます。よろしくお願いします!!

【 もくじ 】

- | | |
|---------------|---------|
| 1・表紙 | 5・国内活動 |
| 2・小学校緑化支援 | 6・事務局より |
| 3・ブルキナファソから 1 | 7・ありがとう |
| 4・ブルキナファソから 2 | 8・お知らせ |
| チャドから | |

< スタッフよりひと言 >

- 仕事を終えて外に出ると、まだ空に明るさが残っていることがあります。日が長くなりましたね。(岡本)
- ナイジェリアで起きた少女の集団誘拐。なぜ未来のある子供たちが犠牲に…胸が張り裂けそうです。(菅川)
- ブルキナでは雨季が始まりつつあり、マンゴが美味しい季節。しかし、暑さは変わらず過酷なまま…早く大雨が降って涼しくなることを期待しています！(田村)
- 修学旅行生が事務所を訪問。みんな熱心に1時間のレクチャーを受けます。終われば待望のディズニーランド！なんです。(本所)

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

ハケ岳農場の特産品

ハケ岳中央農業実践大学校の特産品がさらに充実しました。これまでの手作りチーズとアイスクリームに加えて、チーズケーキ、カレー、ソーセージなど、ハケ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの10セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに定価の20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。

00140-9-50425「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで10日程かかります。

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
B	アイス20個	6,400	6,500	6,610	6,710	6,810	7,020
C	チーズ	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
D	アイス / ケーキ2種	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
E	ムース	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
F	ケーキ	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
G	カレー / チーズ	5,000	5,100	5,210	5,310	5,410	5,620
H	ケーキ2種	3,230	3,330	3,440	3,540	3,640	3,850
I	カレー	3,580	3,680	3,790	3,890	3,990	4,200
J	チーズ / ソーセージ	5,730	5,830	5,940	6,040	6,140	6,350

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol.58

編集 岡本敏樹 菅川拓也 本所稚佳江 田村典子 /印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 NASビル3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041